

## 列車の運行を管理するシステムの不具合を発生させた事象の対策について

2022年12月19日に、岡山エリアの列車の運行を管理するシステムの不具合を発生させた事象について、追加の原因と対策をお知らせします。

ご利用のお客様に多大なご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

### 1 発生日時

2022年12月19日（月）午前9時47分頃

### 2 概 況

午前9時47分頃、岡山指令所において運行を管理するシステムの更新作業を行っていた作業員（社員）が、配線を誤って電源をショートさせたため、岡山指令所で運行を管理するすべての線区において運転を見合わせました。

その後、復旧作業を行い、11時以降、11時30分までの間に、すべての線区の運転を再開しました。

### 3 列車影響

〈運 休〉 90本

〈遅 れ〉 147本 最大126分

〈影響人員〉 約 20,000人

〈運転を見合わせた線区〉

- |                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| ・ 山陽線 上郡～三原駅間   | ・ 福塩線 福山～府中駅間   | ・ 赤穂線 岡山～播州赤穂駅間 |
| ・ 宇野線 岡山～宇野駅間   | ・ 瀬戸大橋線 岡山～児島駅間 | ・ 芸備線 新見～備後落合駅間 |
| ・ 姫新線 上月～新見駅間   | ・ 因美線 津山～智頭駅間   | ・ 津山線 岡山～津山駅間   |
| ・ 伯備線 倉敷～伯耆大山駅間 | ・ 吉備線 岡山～総社駅間   |                 |

### 4 原 因

運行を管理するシステムの更新作業を行っていた社員が、図面の確認が不十分な状態で作業を行った結果、配線を誤って電源をショートさせたためです。

### 5 対 策

システムの更新作業を行う際には、管理者が現行システムへの影響を検討した上で作業を行います。また、作業する社員が図面を十分に確認し作業を行うよう社内ルールを徹底します。